

平成25年4月15日



久留米大學法学部同窓会会報

KURUME UNIVERSITY LAW ALUMNI ASSOCIATION

2013

2013年号

久留米大学法学部同窓会会報

CONTENTS

ご挨拶

2013年会報発刊に寄せて	会長 折戸 謙介	
新学部長挨拶	法学部長 荒井 功	1
学部長退任挨拶	小竹 一彰	1

大学関係

法学部25周年記念行事	2
附設高等学校・中学校新校舎が落成	3
職業と社会	4
第47回あのお祭／サークル訪問「編集局」	5
法学部パーティー	6
法学部第23回卒業式・祝賀会／卒業生抱負	7

企画

卒業生に会える店「お茶漬けダイニングWan」	8
会社探訪	9
日帰り旅レシピ	10～11

同窓会活動

平成24年度定期総会の報告	平成23年度決算	12
	平成24年度予算	
法学部同窓会活動報告		13
卒業生よりひとこと／新役員紹介		14

お知らせ

平成25年度定期総会のお知らせ等	17
------------------	----

編集後記

17

●表紙写真



JRと並んで久留米大生の通学の重要な足であり、福岡の大動脈でもある西鉄。

その西鉄久留米駅は、筑後地方の交通の要として存在し、バスセンターからは各地に向かう高速バスの発着も盛んです。

久留米大に向かうバスの乗り場が、以前は離れていたのを記憶している卒業生の方もいらっしゃると思います。現在では改装され、改札を出てから一階に降りてすぐの位置に移動しました。一眼目の授業のに遅刻しそうになり、構内を走ったのも懐かしい思い出です。

●裏表紙写真



福岡から久留米駅に入線してきた特急電車です。

現在は赤と白のコントラスト鮮やかな8000形が、主に特急車両として活躍しています。

この他にシルバーとブルーが爽やかな3000形車両や、普通電車はもちろん、通勤通学ラッシュ時に特急や急行として運用される5000形車両などが日々走っています。

また、西鉄久留米駅東口ロータリーは久留米岩田屋やリバーランドなど商業施設があり、待ち合わせの場所にも使われていました。現在のロータリーの様子です。



2013年会報発刊に寄せて

久留米大学法学部同窓会会長 折戸 謙介



皆様こんにちは、法学部同窓会会長の折戸です。2013年会報をお届けします。

私ごとではありますが、昨年末に40歳になりました。思い返すと、私が会長に就任した時は30代も前半でしたので、時が過ぎるのは早いものです。5期生で同級生だった卒業生の皆様も、もれなく四十路に突入されていることと思います。久留米大学法学部は今年で25周年、まだまだ若い学部ではありますが、私たち卒業生もそれなりの年齢になり、社会の中で大いに活躍すべき世代になっているはずですよ。

同窓会再建から考えても、結構な時間が経過しました。再建当初からの執行部メンバーも少なくなり、徐々にではありますが、若い世代へと入れ替わりつつあります。再建当初の混乱の状況を顧みると、現在のように和気あいあいと楽しく活動出来ているのが夢のようです。

ただ、私より若い世代というのは、社会的には非常に苦しい時代と状況を生きている人達でもあります。不況しか知らない世代になりますので。就職難から社会に入り、低賃金、格差社会に苦しんでいる人が多くいます。

私たち同窓会に出来る事は限られていますが、人と人とを繋ぎ、絆を作っていく事で、少しでも卒業生の皆様のお役に立てればと思っています。5月の総会でお会いできるのを楽しみにしておきます。

新学部長挨拶

法学部長 荒井 功



法学部卒業生の皆さんお元気でしょうか。今年4月から学部長を務めることになりました。実質的な初代学部長の林迪廣先生から数えると8人目になります。創設の頃には最若年層の講師だったことを思うと法学部が刻んだ歴史を感じます。法学部を巣立った卒業生は七千余名にもなっており、経済界、官界、教育界、法曹界、家庭と、社会のすみずみで活躍しています。創設から四半世紀をへて、久留米大学法学部もいわば立派な成人になったといえるように思います。

昨年11月には創立25周年を記念事業としてワークショップを開催し、故岡本宏先生が収集された福岡県南部地域の社会・労働運動の文献資料の整理・公開をすすめることとしました。本学のモットーでもある地域に根ざした教育研究の具体化のひとつといえましょう。

大学の現況について御報告しますと、就職率はやや改善の兆しがみられるものの対卒業者ベースで70%弱と厳しい状況にあります。警察をふくむ公務員就職者が卒業者の1割近くを占めるのは法学部らしいといえますが、学生の皆さんにはできるだけ幅広く進路を考えるよう助言しています。この面では同窓会の御支援により、様々な分野で活躍している法学部OB・OGを講師として開講した「職業と社会」は大きな意義があります。学生にも好評なので、今年度は時間枠を拡大して実施することにいたしました。今年度から全面刷新するキャリア教育とともに進路支援に貢献することと思います。

大学の今後の長期的な方針として「久留米大学基本構想」がまとまりました。このなかには文系キャンパスでの新教育・研究棟の建設が盛り込まれています。新棟は現在の100号・200号・300号・400号館に代わるもので、教室、事務部門、教員研究室のほかに、教員・学生が集えるスペースを備えたものとしており、2年後から使えるよう計画しており、研究室を含めた全体の完成は4年後です。また「基本構想」には学修支援のための情報インフラの拡充も挙げられています。すでにEラーニングシステムや、就職支援用システムも稼働していますが、より総合的な観点からの情報利用に基づいた支援策を考えていきます。

地道な努力がなかなか目に見える結果を生みづらい社会環境ですが、それだけに学生と教員がともに学ぶ場としての大学の意味を考え、なすべきことを一つ一つ進めていくのが私たちの責務だと思います。卒業生の皆さんには温かく見守って頂ければ幸いです。

学部長としての4年間を顧みて

小竹 一彰



本年3月31日をもって4年間務めた法学部長を退任しました。同窓生の皆様にこの場を借りて、この4年間に同窓会と同窓生各位からいただいたさまざまなご支援とご協力に対して厚くお礼申し上げます。

この4年間は、私にとって公私ともに多くの出来事が起きました。私的な出来事について一つだけ触れれば、4年余りに学部長に選任された際に最初に頭を浮かんだ不安は今の体調で果たして2年間または4年間も学部長が務まるのかということでした。これは、私のような年齢で学部長という激務を務める人が誰でも感じる不安でしょう。結果的には私の体調面では大過なく4年間を経ることができました（学部、大学、同窓会にとって好ましかったどうかは別問題ですが）。

公的な面で4年前に最初に感じたことは、阿部和光前学部長の努力で正常化した法学部と同窓会の関係を強め発展させることでした。同窓会執行部と同窓生の皆様のご協力もあり、この点は当初の予想よりも順調に進みました。同窓会による学生表彰制度の発足、学部独自のキャリア教育科目「職業と社会」への同窓生諸氏の協力などという成果が現れたのです。また法学部25周年記念事業の開始を告げるワークショップも、同窓会などの支援により順調に開催できました。今後は石川捷治教授などの尽力により獲得した図書館振興財団からの助成により25周年事業本体の実施に取り組むことになります。

大学全体、特に文系学部の今後に関わる新棟建設事業も新年度からようやく本格的に始まります。さらに、文系学部の教育と学生指導の効率化を図る新たなデータ管理システムの構築も本格的な段階に入ります。法学部の教育研究と学生指導も、新たな段階を迎えて、さらに充実できるはずです。

今後も同窓会の法学部に対する温かい関心と激励をお願いします。

法学部25周年記念行事



昭和62年に創設された久留米大学法学部は25周年を迎えました。それにちなみ、平成24年11月24日（土）御井図書館3階AVホールにて記念行事が開催されました。

また、今回の25周年と併せ、かつて法学部国際政治学科で教鞭をとられた故岡本宏先生が、長い研究生活の中で収集された膨大な資料の数々を、ご遺族のご厚意により久留米大学御井図書館に寄贈されたことから、法学部25周年記念事業として整理・保存・電子化・公開を進めることとし、その発端としてワークショップが開催されました。

ワークショップでは、故岡本宏先生に所縁のある先生方・卒業生により、岡本先生にまつわる様々なエピソードが披露され、岡本先生を偲ぶものとなりました。

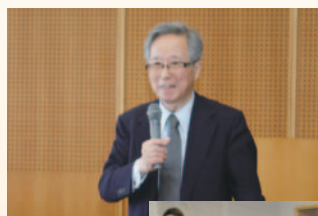
そこで、岡本ゼミOBである村井麻木さんに岡本先生との思い出をつづって頂きました。

（取材：佐々木 美佐子）



岡本文庫の一部

石川捷治先生



茶話会

法学部25周年によせて

2012年11月24日（土曜）に久留米大学法学部25周年記念行事が御井図書館で開催されました。主な内容は法学部草創期に活躍された故岡本宏先生の業績から、当時の法学部の研究・教育活動をふり振り返り今後を展望するというものでした。

第1部は、石川捷治先生が、岡本先生の業績に関する基調講演、森茂樹先生による岡本文庫及び研究の紹介、先生のお孫さんが祖父について語る等元ゼミ生の私にとって大変興味深い内容でした。

第2部は、「岡本先生との思い出を語る」となっており、学部ゼミ生として私が、大学院のゼミ生として有谷三樹彦さんが当時を思い出しながら、厳しいながらも優しい眼差しで励ましてくれた先生について発表しました。

私は大学2年生の時に岡本先生と出会ったお蔭で、

政治に興味を持つようになり、それがきっかけで「日本の戦後補償問題を考える」というテーマで卒論を書きました。ロストジェネレーション世代の私にとって、就活しながらの卒論作成はとても大変でした。

でも、あの時頑張ったお蔭で今回法学部25周年の記念行事に参加することができ、基礎ゼミでお世話になった神原先生とも再会できました。

久留米に住んでいても母校へ行くことはほとんどない為、今回久しぶりに大学を訪問し、同窓生との絆を再確認、新たな思い出も増えました。地元に住む卒業生として今後は、同窓生との繋がりを大事にしていきたいと思います。

6回卒 法律学科 村井 麻木



附設高等学校・ 中学校新校舎が落成

平成24年10月9日、久留米大学附設高等学校・中学校の校舎新築の落成式が行われました。この校舎新築改築工事は、久留米大学創立80周年記念事業の一環として、附設高等学校創立60周年事業も兼ね、平成22年7月に着工していました。附設校の校舎改築は、当時の校舎の老朽化や耐震基準の見直しに伴う対策として課題となっていました。多くの協力と力を頂き円滑に進められました。平成25年度より附設中学校も男女共学となります。現在新しい東棟と西棟にて生徒たちは毎日快適に勉学に励んでいます。

今回の新校舎において特筆すべきは、「思考廻廊」です。階段棟の壁に、各回卒業生から贈られる記念パネルが年代ごとに並べられています。これは附設校のこれまでの輝かしい伝統を感じさせるものとなっています。

私自身も平成24年3月まで附設高中校事務室に勤務していました。

九州でも有数の進学校であり、たくさんの著名人も輩出しています。我々法学部卒業生には馴染みがないかもしれませんが、附設高中校は久留米大学の誇りです。私もこの誇りを胸に頑張っていきたいと思っています。

（久留米大学財務部用度課 村井 健太郎）



職業と社会

久留米大学法学部では現役学生支援を積極的に行っていきたいと考えています。

法学部では「職業と社会」という授業があります。この授業は現役で活躍している卒業生に講師として来ていただき、就職活動のエピソードや、現在の仕事で心がけていることなど、実体験を学生に話していただくものです。

少しでも将来の具体的なビジョンを持つことができるようにという趣旨で始められた授業ですが、同窓会は講師となる卒業生と、現役学生との橋渡し役であるコーディネーターとしてお手伝いさせていただきました。

今回は職業と社会の担当をされている、法学部就職委員長の前田俊文先生に寄稿して頂きました。

「職業と社会」の目的と意義について



法学部就職委員長
前田俊文

昨年度から基礎専門科目「職業と社会」（半期1単位、25年度以降は2単位）を開講しました。この講義では、法学部同窓会との協力により、社会人として活躍している、久留米大学法学部OB・OGを講師としてお招きし、学生のキャリア支援を行っています。講師の方々には、なぜその職業を選んだのか、実際にどのような仕事をしているのか、仕事のやり甲斐と意義、学生時代に何を

やっておいたらいいか、などについて語ってもらっています。

卒業して数年しか経っていない比較的若い方たちを講師として招いているので、学生と同じ目線で職業について語ってくださり、学生の質問にも気さくに答えていただいているので学生には大変好評です。この講義を受講したことで進路についての視野が広がり、公務員ばかりでなく民間企業にも興味湧いてきたと感謝をしていた学生もいました。

この講義の強みは、法学部という点を考慮して、民間企業だけでなく公務員や資格試験の合格者、マスコミ関係者も講師として招いているので、非常に多様なジャンルに対応することが可能な点です。キャリア教育科目は他学部にもありますが、司法書士や税理士、市役所・県庁職員、刑務官、新聞記者、市議会議員、大学教員などを講師として招くことができるのは法学部ならではといえましょう。

さて、法学部の就職状況を簡単に説明しますと、平成23年度は名目就職率90%、実質就職率63.9%でしたが、1月末現在で



今年度はそれよりもかなり高い数値で推移しております。西南学院大学や福岡大学に劣らない高い就職率を誇っています。近年は学生と企業とのミスマッチが指摘されてきましたが、学生が就職先を高望みせずに現実路線に切り替えていることが内定率上昇の背景といわれています。しかしながら、企業の人事担当者が学生に要望しているレベルは依然として高いままです。

公務員試験合格者については厳しい状況は変わらず、ここ数年は20~40名ほどの合格者数で推移していますが、行政職や国税専門官の合格者は少数で、ほとんどが警察官や消防士、自衛官の合格者で占められています。法学部は他学部に比べると実質就職率がやや低いのですが、23年度卒業生の15%が再受験を目指しているという現状を見ると、それも仕方のないことだと思っています。

現役合格できなくとも予備校に通って卒業後に合格している学生も少なからずいるので、公務員志望を断念させることはできませんが、今後は公務員試験の難化、それに伴う法学部の不人気などを考慮すると、「就職に強い法学部」を目指す必要があると思われます。そのためには「就職がためなら公務員・資格試験を目指したらいい」という安易な逃げ道を作らせないために、学生ばかりでなく、学生の保護者、教員の意識改革も必要となってくるかもしれません。

(取材：佐々木 美佐子)





第47回 あのか祭

第47回あのか祭開催される！



今年も第47回久留米大学あのか祭が開催されました。今年は「hand in hand」想いをつなぐバトン」と題し、11月2日から4日までの3日間にわたって、数多くの来場者で賑わいました。

今回のテーマである「hand in hand」想いをつなぐバトン」にはあのか祭に関わる全ての人と手を取り合い、感動してもらいたいという思いが込められています。前夜祭恒例の芸能人企画では、2007年Mリーグランプリ決勝にも出場した「ザ・ブングル」が登場。「カッチカチやぞー」などおなじみの顔や屋体を駆使したギャグやネタを披露し観客席を爆笑の渦に巻き込みました。

また翌3日からの本祭でもステージ企画や展示企画、バザーなどに学生たちの「思い」が込められた全力の祭りとなりました。最終日あいにくの雨の中であつたものの、フィナーレを飾るレーザー花火では、夜空に繰り広げられる音と光の一大ショーの幻想的な美しさに歓声が上がり、締めくくりに特大火火が打ちあがり静かに消えていくと惜しみない拍手が贈られました。

特に今回のあのか祭では、初の試みとして西鉄久留米駅御井キャンパス間を結ぶシャトルバスを運行。一般来場者の利便性も向上し、ますます地域に根差す久留米大学の存在感のアピールに繋がっていました。（取材：佐々木 美佐子）



サークル訪問⑦

編集局

あのか祭がいよいよ始まるという、高揚感と緊張感が漂う御井キャンパス。

野外ステージでは期間中の安全と成功を願って、神職によるご祈願が行われています。

その熱気の中、ステージを見渡せる位置に設置された檯の上で、冷静に一眼レフを構えシャッターを切る学生たちの姿があります。

彼等は「久留米大学編集局」。

久留米大学校友会の一組織で、学内情報に関する発行物を一手に担っています。

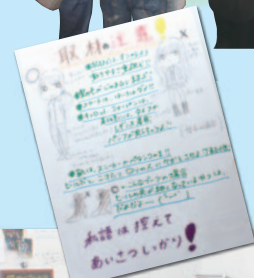
新入生入学後最初に手にする「学友会誌」も彼らの手によるものです。更にあのか祭をはじめとした学内イベントや、定期試験・講義についての重要な情報を、余すことなく掲載した「K.U. Information」は、卒業生の皆さんも一度は目にすることがあると思います。

今回のあのか祭では前夜祭を含めた3日間、彼等は全てのイベントを取材、撮影し、その後記事を作成。数度の編集会議と校正を経て、「K.U. Information」特集号は作られました。

編集会議では、学生らしく和気藹々とした和やかな空気は一変。厳しく各エッセイ項目の確認や発行までのスケジュール確認など、責任を持った仕事振りに感じ入りました。

今後も久留米大学生に有用な情報を発信し続ける彼らに応援していきたいと思っています。

（取材：佐々木 美佐子）



法学部 パーティー

御井キャンパスのケヤキ並木にクリスマスイルミネーションがすっかり見慣れた12月14日(水)、恒例の法学部パーティーが御井学生会館にて開催されました。

今回で8回目となるこの催しですが、先生方と学生が交流を深める目的で始まったものです。中心になって運営しているのは、学生委員の先生とチューターの皆さん。1ヶ月以上も前から準備をし、当日を迎えます。

料理の手配やビンゴの景品の買い出しなど、忙しい毎日の合間を縫って頑張ってきました。

もちろん私たち法学部同窓会も出し物としてクイズをさせて頂いています。(取材：佐々木 美佐子)

賞品は
ウォークマン



ビンゴ



学部長挨拶



恒例同窓会クイズ



何番でしょう？

3DSゲット！



お子さんにお土産

久留米大学法学部

第23回 卒業式・祝賀会

平成25年3月21日、久留米大学法学部第23回卒業式が、みいアリーナにおいて挙行されました。

早咲きの桜が咲き誇る弥生の青空の下、晴着に身を包んだ320名の卒業生はそこかしこで記念写真を撮りあい談笑しながら、やがて式場に入っていきます。

卒業式終了後は貸し切りバスでホテルニュープラザに移動し、祝賀会が開催されました。

今季限りで退任される小竹学部長の挨拶の後、法学部父母の会会長を始め、卒業生代表、折戸同窓会長らによる鏡開きが行われました。

その後大学を移られる日野田先生により、祝賀会開始の合図となる乾杯の発声が行われ、一気に会場は寂しさと、新たな門出を迎える卒業生と先生方の笑顔の花が咲き笑い声で会場は包まれていました。

締めくくりとして折戸同窓会会長による万歳三唱で祝賀会は幕を下ろしました。

法学部同窓会は新たに今年の卒業生320名を迎え、7339名を数えます。

これからも更なる発展を目指し活動をしていきたいと思っています。

(取材：佐々木 美佐子)



卒業生抱負



石田 達也

私は入学当初、特に目標もなく、大学生生活をどう過ごしたらいいかわかりませんでした。

しかし、学生生活を通じて、様々な人と出会うことで、自分の目標を立てることができ、有意義な学生生活を送ることが出来ました。その中でも一番印象に残っているのがチューター活動です。

オリエンテーション合宿でチューターに出会い、大学生活を順調にスタートさせることができました。そして私自信チューターになり、素晴らしい先生方、先輩、後輩、様々な人に支えられて自分自身大きな成長を遂げることができました。

このように成長することが出来たのも久留米大学に入学したからであり、これからの人生、いままで私を支えてくれた両親、友人、先生方、そして久留米大学で学んだことを最大限に生かし、新たなことに挑戦し、これからは支えていける人間に成長していきたいと思っています。

お茶漬けダイニング Wan 岡田 勝さん（法律学科1回卒）

福岡市天神のオフィス街にほど近い中央区高砂の一角に、法学学科1回卒の岡田勝さんの経営する居酒屋「お茶漬けダイニングWan」があります。

こちらはちょっと珍しい、ダシ茶漬けをメインとしたお店です。

岡田さんは平成3年に久留米大学を卒業した後、学生時代からアルバイトで在籍していた日本マクドナルドに就職。店長として各地を巡り飲食業の経験を積んできました。

15年前転職先の熊本で出会ったダシ茶漬けの美味しさに魅せられ、日本のファストフードであるお茶漬けをメインにしたお店を始めたいと思い、40歳を期にマクドナルドを退職。2007年12月6日、現在の地に「お茶漬けダイニングWan」を開店、今年で7年目になります。

一枚板の看板が目印の店舗入り口から入った右側にカウンターがあり、その中から岡田さんと奥さんが暖かい笑顔で迎えてくれます。

柔らかな照明に照らされた店内は、カウンターに6席、テーブルが12席。目が行き届くほど良い広さでゆったりと落ち着いた空間となっています。

そこで出されるダシ茶漬けは、普段自宅ではなかなか食べられない飛び切りの逸品。

生産者の方から直接仕入れる南高梅や、葉ワサビの佃煮などどれも選りすぐりの美味しさです。



岡田さんご夫妻

奥が深いお茶漬け

「ダシの取り方ひとつにしても、佃煮や梅干しなど、昔から続いてきた先人の知恵と、工夫の結晶を組み合わせ、その上でお茶漬けという手軽な料理が生み出されることの面白さ、奥の深さに気が付いた。」これがお茶漬けにのめり込んだきっかけなのかもしれないと、岡田さん。



自慢のお茶漬

カウンターを挟んだ距離がちょうどいい

学生時代から人と話すこと、人と関わることが好きだった岡田さんとの会話を目当てに来店するお客様は多く、料理とお酒だけでない楽しみがこの店にはあるようです。

「カウンター越しの距離感で話をするのが楽しみ」とも語る岡田さんですが、中には海外からのお客様も…。

毎年、ゴールデンウィークに遥々フランスから来日し、北から南へと日本を縦断。福岡に到着すると必ずWanを訪ねてくれるお客様。日本酒を飲み、お茶漬けを楽しんで来年の再会を約束して行かれるそうです。

店名に込められた思いと夢

日本の文化であるお茶漬けのお店なのに、なぜ漢字の「碗」ではなく「Wan」なのか？最後に尋ねてみました。

「いずれ、世界に出られたら、誰にでもわかりやすく受け入れられる名前にしたかった。一碗のお茶漬けから日本を世界にアピールすることができれば」と語ってくれた岡田さん。

その一歩として、お持ち帰りもできる冷凍のお茶漬けを販売するなどアイデアは尽きないようです。

ぜひ、卒業生の皆さんも足を運んで奥深いお茶漬けの世界を堪能してみてください。（取材・文責：佐々木 美佐子）

※なお、同窓会報をご持参でご来店の方、初回に限り岡田さんより特典があるそうです。

2013年9月30日まで

カウンターで同窓生との語り合い



1日限定20名までのもつ鍋



こだわり抜いた選りすぐりの素材で

お茶漬けの基本はやはり米。

各地の米を食べ比べ、行き着いたのが福島県会津若松のコシヒカリ。実は会津若松はあの米どころ新潟県魚沼市と山一つ隔てた場所に位置し、水源は同じ。その為大変おいしい米ができるとのこと。さらに福島県の検査基準は世界一厳しく、それをクリアした安心安全な米をお客様に召し上がって頂けるそうです。

Wanのお茶漬けのもう一つの命はダシ。

お茶漬けの具としてどうしても外せない梅干しを最も美味しく食べられるよう、様々な素材で試行錯誤を繰り返し、ようやく現在の味にたどり着きました。

お茶漬けダイニング Wan



福岡市中央区高砂1丁目4-13

ノーヴァルーチェ高砂102

T E L 092-522-3810

営業時間 18:00~翌3:00 日曜定休

尚、お店のHPも開設していますのでぜひご覧ください。

URLはこちら

<http://ochaduke.com/>

また岡田さんはFacebookも開設されています興味のある方はぜひどうぞ

<http://www.facebook.com/masaru.okada1>



会 社 探 訪

久留米大学病院

森 雄三さん

(16回卒 法律学科)



Q1 現在、どのような仕事を
なさっていますか？

A

大学卒業後、平成18年4月から平成20年3月まで久留米市内の病院で事務職として勤務しました。更なるスキルアップのために、平成20年4月より九州大学大学院医学系学府医療経営・管理学専攻へ進学し、医療制度や医療機関の経営等について勉強しました。平成22年4月より、久留米大学病院で勤務しております。現在は、病院経営室という部署に配属され、大学院で学んだことを活かして仕事をしております。

Q2 その仕事のやりがいや、
続けてきてよかったことなどの
エピソードを教えてください。

A

大学病院は、「臨床」だけでなく「教育」や「研究」も行う病院ですが、健全な経営の上にこれらが成り立っていることは間違いありません。

医学部の教授や医師に対し、データや分析結果を基に経営上の意見を言うこともあります。こちらが出した分析の結果を見て、改善のきっかけになる時はうれしいですね。

Q3 学生時代で最も印象に
残っていることは何でしょうか？

A

阿部和光教授との出会いです。最初は「単位を取るのが楽」という、非常に邪な考えで、3年次のゼミを選び、社会保障法を学びました。これがきっかけで現在の道に進んでいると思っています。

Q4 社会で頑張っている
久留米大学同窓生の皆さんへ
エールをお願い致します。

A

同窓生の皆様にエールを送れるような歳ではありませんが、同窓生の皆様の健康とますますの御活躍をお祈り申し上げます。

(インタビュアー：小原 哲哉)
平成24年12月9日

日帰り旅レシピ

日帰り旅レシピ 秋月城下町散策



“観光地の大人気パン屋さん”



月の峠

行列ができるお店として有名なパン屋さん
特に人気は揚げたてサクサクの「カレーパン」
営業時間 11:00-17:00 TEL 0946-25-1115

カレーパン



名物くずもち



“行列のできるお蕎麦屋さん”



御蕎麦ちきた

山里に佇む古民家を改装した風情あるお店。
おいしいお蕎麦を求めて行列ができる。
売切れ次第で終了してしまうので、早目にどうぞ。
営業時間 11:00-16:00頃 定休日: 火・第3月曜日
TEL 0946-25-1775

黒門茶屋

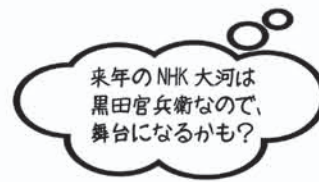
観光客で賑わう桜並木通り(メインストリート)の真ん中にある茶屋。
川茸料理に、黒門定食など城下町にふさわしい料理を提供。名物の
「くずもち」はその都度練り上げる新鮮さで、ココで味わいたい一品である。
営業時間 10:00-17:00 TEL 0946-25-0492



秋月郷土館

秋月藩の重臣戸波家の屋敷跡に建てられた資料館。
黒田家の遺品を中心に400点を展示。
秋月の歴史を知るには是非訪れたい場所。
併設の美術館には、横山大観・ルノワール等の作品も展示。

営業時間 9:00-17:00 入館料 500円 休館日：年末年始



来年のNHK大河は
黒田官兵衛なので、
舞台になるかも？



眼鏡橋 (県指定有形文化財)

秋月城下の入口に架けられている石橋。
文化7(1810)年竣工で、秋月藩の家老宮崎
郷部が長崎から石工を招き、花崗岩を用
いて築いた。



長屋門 (県指定有形文化財)

正しくは内馬場裏御門。
むかし側室の住むひと
構えの屋敷があったが、
この門はその通用門だった。



黒門 (県指定有形文化財)

本来は御館の大手門である。そのはじめ
古処山城の搦手門だったが、黒田長興が
入府するに当たり寛永元年(1624)この門
を引いて御館の大手門にしたといわれる。



切腹岩 (恵利暢亮殉節碑)

秋月種実の重臣・恵利暢亮が、
1587年豊臣秀吉が九州征伐に
来た時、和平説を説いたが容れ
られず、この岩上で切腹し、死を
もって忠諫したといわれる。



菓秀 桜

ココの一番人気は「おいも」9個入り
480円で、サツモイモと白あんをプレ
ンドレシナモンをまぶして焼き上げ
た菓子。人気ベスト2は、ふわふわの
「シフォンケーキ」でお土産に最適!
TEL 0946-25-1619



秋月城跡 (県指定史跡)

城跡には、表御殿跡は秋月中学校、
奥御殿跡は梅園公園になっている。

秋月で宿泊するなら...

秋月温泉「清流庵」

小京都・秋月の山懐に佇む温泉旅館 
四季折々の草木や滝・池を配した庭園の中でゆっくり
とした時を過ごせる。全室露天風呂付きの離れ形式の
お宿で、全6室と小さいながら、客室それぞれ趣が異な
り岩盤浴付きの贅沢なお部屋もある。
お湯はしっかりとぬめらか。

〒838-0001 福岡県朝倉市秋月1058
TEL: 0946-25-0023



客室露天風呂



客室『さくら』

秋月のちょっぴり歴史



秋月の歴史を紐解くと大きくは2つの流れがある。平安時代より大宰府を中心に勢力を誇った大蔵氏を祖とする秋月氏と、
秀吉の九州征伐後、秋月氏の国替えがあり、その後関が原の戦いで勝利した徳川家康により恩賞として筑前国を与えら
れて引き継いだ黒田氏の歴史である。秋月氏は、初代・秋月種雄から17代秋月種長まで約400年間この地を治め、黒田氏は
明治維新までの約270年間を治め、秋月支配はここに幕を閉じる。明治維新後は、西南戦争の4ヶ月前に秋月の乱が勃発
したり、時代の流れの渦に巻き込まれる事になる。明治13年(1880)臼井旦理の子六郎が、父の仇として東京上野裁判所
判事一瀬直久(旧名:山本克己)を討ち果たした事件は、日本最後の仇討ちとして当時広く世間に知れ渡ることになる。
近年テレビドラマでも放映された。詳しくは、秋月郷土館で!!

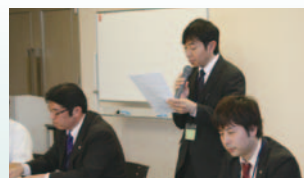
平成24年度総会懇親会開催



平成24年5月26日（土）、御井キャンパス学生会館において、平成24年度定期総会及び懇親会を開催いたしました。

定期総会は29名の参加者（委任状151通）のもと下記の議案（※）について提案が行われ、いずれも可決されました。

また、新たに執行部役員として末田佳之さん（17回卒）が加入することとなり、更に若干名を適宜補充していくことが提案され可決されました。



総会風景

- ・第1号議案 平成23年度事業報告について
- ・第2号議案 平成23年度決算報告について
- ・第3号議案 平成24年度事業計画について
- ・第4号議案 平成24年度予算の決定について

平成23年度決算・平成24年度予算（自 平成23年4月1日～ 至 平成24年3月31日）

（単位：円）

借 方				貸 方			
款	項	24年度予算案	23年度決算額	款	項	24年度予算案	23年度決算額
事業費		4,240,000	3,849,390	会費収入		6,661,500	7,380,000
	旅費・交通費	350,000	349,500		入会金	6,660,000	7,380,000
	会議費	20,000	9,314		会費	0	0
	総会費	1,000,000	878,385	利息収入		1,500	1,144
	渉外費	150,000	147,000		預金利息	1,500	1,144
	印刷費	20,000	16,140	雑収入		0	14,000
	会報費	1,800,000	1,514,680		雑収入	0	14,000
	広報費	100,000	88,380	立替金			0
	支部対策費	50,000	52,400		立替金		0
	あのか祭援助費	250,000	250,000				
	補助費	500,000	543,591				
記念事業費		0	0				
	記念事業費	0	0				
事務費		4,490,000	3,286,011				
	人件・福利厚生費	2,600,000	2,754,435				
	事務局維持費	150,000	211,863				
	通信運搬費	100,000	96,226				
	消耗品費	30,000	14,609				
	雑費	1,500,000	87,749				
	備品費	100,000	116,565				
	支払手数料	10,000	4,564				
積立金支出		1,000,000	1,000,000				
	基本金支出	1,000,000	1,000,000				
	事業積立金支出	0	0				
未払金		0	0				
	未払金	0	0				
予備費		257,393	0				
小計		9,987,393	8,135,401	小計		6,661,500	7,395,144
				事業積立金取崩		0	0
次年度繰越金		0	3,325,893	前期繰越金		3,325,893	4,066,150
合計		9,987,393	11,461,294	合計		9,987,393	11,461,294

懇 親 会

総会終了後、学生会館2階の「樗（けやき）」に場所を移し懇親会を開催。

いつもながらの立食形式の懇親会ですが、昨年からは亡き幻の御井学館食堂メニュー「SPドライカレー（特盛）」を愛恵会の方のご協力により再現していただきお出ししておりますが、法学部初期の卒業生から「懐かしい！」という歓喜の声を頂きました。

さらに、美味しい食事と一緒に楽しんでいただくお酒は、久留米大学が酒造会社とコラボし製造している焼酎と日本酒をご用意しました。懇親会の終盤では恒例となったビンゴゲームを行い、様々な選りすぐりの景品をご用意。久留米大学オリジナルグッズなどを皆さんにお持ち帰りいただきました。

締めくくりの万歳三唱で幕を閉じた懇親会でしたが、これからもより多くの卒業生の皆さんにお越しいただけるよう、内容を充実させていきたいと思ひます。



恩師との再会



この後阿部先生は5kgのお米と供にJRで帰宅されました



ビンゴ当たるかな？



見事デジカメゲット！

平成24年	4月6日	12日	14日	21日	5月19日	26日	8月18・19日	6月30日	9月29日	10月5日	27日	11月24日	12月8日	12日	1月25日	2月16日	3月9日	21日				
入学式（法律学科26回・国際政治学科19回）	職業と社会第1回講義	4月常任理事会	商経同窓会総会・懇親会	会計監査	5月常任理事会	平成24年度久留米大学法学部定期総会	於・御井学生会館3階ミーティングルーム	懇親会	於・御井学生会館2階「樺」	総会反省会	御井キャンパスオープンキャンパス	商経同窓会日田支部会	商経同窓会福岡支部会	10月度常任理事会	法学部25周年記念行事	国際交流懇親会	12月度常任理事会	法学部バーテイ	商経福岡支部新年会	商経同窓会久留米支部会	商経同窓会佐賀県支部会	第23回法学部卒業式

山 中(旧姓 薬師寺) あさみ

第2子が7月(24年5月時点)に生まれる予定です。
みんな元気してますか？

近 藤 浩 正

(法律学科2010年卒)

卒業後、自動車販売会社に就職しましたが、
消防士に転職しました。

植 松 徹 也

(法律学科)

現在福島に来ております。
東北の復興にはまだまだ時間がかかり、
地元の皆さんは放射線などの
不安を抱えながら日々を送られています。
一人ひとりが出来る範囲での
ご支援をお願いします。

中 島 隆 志

(法律学科93年卒)

平成24年5月1日より
道の駅はゆまの支配人(駅長)
をやっています。
宮崎にお越しの際は
お立ち寄りください。

卒業生より
ひとこと

～同窓会出欠はがきのコメント欄より～

遠 藤 大 介

(法律学科)

去年(平成23年)
長崎市から福岡市に
転勤になりました。
久々の福岡です。

岡 本 秀 光

(国際政治学科)

実家の寺を継いで住職してます。

松 永 健

(法律学科)

今年(24年)の人事異動で
県庁の出先機関で県税徴収
を担当することになりました。
地方税の徴収確保は地方自治の原点！
“地方税の滞納は許さない”
との信念のもとに日夜頑張っています。

松 本 透

毎日の業務雑多な中、
ダンスイベント出演・レッスン等
をこなしております。
多忙ですが、合間を見て
皆さんにお会いしたいですね。

田 中 裕 子

(法律学科92年卒)

政令市になり区の職員に
なりました。新しい仕事に挑戦。
難しく今勉強中です。
注：熊本市は平成24年4月
より政令指定都市。

若 松 大 介

(法律学科)

平成24年1月1日に
税理士事務所を
開業いたしました。
規模は小さいですが
少しずつ頑張っています。

幸 野 憲 道

(法律学科)

国家資格2級キャリアコンサルティング技能士資格
を24年3月に取得しました。

新役員紹介



末 田 佳 之

(17回卒 法律学科)

はじめまして、法律学科第17期卒業の末田佳之です。
新しく同窓会役員として今年から加わることになりました。
学生時代は特に何も感じませんでしたが、卒業してから大学のことを
思い出すようになり、少しでも力になれば、と思い、何か一つで
も役に立つことができるよう、頑張っていきたいと思っています。
これから、よろしくおねがいします。



益 村 佳 奈

(10回卒 法律学科)

同窓生の皆様こんにちは。私は、卒業後、筑紫野市にある保育所で保育士として勤務しています。学生時代の学科とは全く関係のない職種になってしまいましたが、我が子の時の育児経験も生かしながら日々頑張っています。
現在、年長児の担任をしており園児達が小学生になるまでの生活の場として素敵な思い出をつくれたらとまた、成長の著しい多感なこの時期に子育てのサポートをさせて頂ける事に感謝しながらこれからも新しい保育に挑戦しながら努力していきたいと思っています。



近況報告用原稿用紙

久留米大学法学部同窓会会報に皆様の近況をお寄せ下さい。
こちらの原稿用紙を使用してFAXでのご寄稿が可能です。

同窓会事務局FAX番号 0942 (43) 5164

20×20

[illegible]

キ
リ
ト
リ
線

法学部

学科

平成

年卒

(ふりがな)
氏名

住所

電話番号

久留米大学法学部同窓会住所変更・お問合せ用FAX用紙

事務局FAX番号 0942 (43) 5164

住所変更のお届けや、お問い合わせにご利用下さい。

1～6については必ずご記入・ご選択ください。(3を除く)

1. 卒業年 _____ 年(西暦)
2. 学 科 法律 / 国際政治 (どちらかを○で囲んでください)
3. 学籍番号 _____ (任意)
4. お 名 前 (ふりがな) _____
(姓名を変更された方は在学中の旧氏名をご記入ください)
5. 性 別 男 / 女 (どちらかを○で囲んでください)
6. 生年月日 _____ 年(西暦) _____ 月 _____ 日

以下は変更箇所のみご記入下さい

【住所変更】一転居等による新住所等について

郵便番号 _____

ご 住 所 _____

電話番号 _____

【改姓名】一姓名の変更について

姓 名 (ふりがな) _____
(姓名を変更された方は上記4. に旧氏名をご記入ください)

【通信欄】—その他連絡事項等がありましたらご記入下さい

【個人情報の保護について】

- * この用紙にて収集した個人情報は、本同窓会の個人情報保護に関する規約に従い厳重に管理いたします。
- * ご提供頂いた個人情報は定められた目的以外に使用することはいたしません。
- * あらかじめ事前の同意を得た場合、法に定めのある場合を除き個人情報を第三者に提供することはありません。

同窓会事務局より

平成25年度定期総会のお知らせ

日時：平成25年5月25日（土） 午後2時30分～ （受付：午後2時～）

・総会議事 午後2時30分～午後3時

＊総会終了後キャンパスツアーにご案内いたします
時間の都合により変更の場合あり

・懇親会 午後4時～午後6時30分 御井学生会館2階「櫛(けやき)」

会場：久留米大学・御井キャンパス 学生会館3階「ミーティングルーム」

議題：平成24年度事業報告ならびに決算承認について
平成25年度事業計画ならびに予算案承認について
その他

住所連絡のお願い

現住所、電話番号など変更がありましたら、同窓会事務局までご一報ください。
また、ホームページからのお届けも簡単になりました。ぜひご利用ください。

会報への投稿について

近況報告や同窓会に期待すること、情報提供など会報への投稿をお待ちしています。

また、最終ページの「FAX用原稿用紙」をご利用いただくことで、お気軽に会報への投稿も可能です。FAXは文末にある事務局直通の番号にお願いいたします。

更に「マイ ベスト ショット」企画として。会員の皆さまからの傑作写真の投稿も併せてお待ちしております。お気に入りの写真や旅行先での美しい風景、お住まいの町の見慣れた風景などジャンルは問いません。どしどしご応募ください。写真には簡単な説明やエピソードなどを添えてください。

お問い合わせなどは、下記までお気軽にどうぞ。

同窓会事務局 TEL・FAX 0942 (43) 5164

E-mail : krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp



前年号の会報から企画のページで「卒業生に会える店」が始まりましたので、食べ物についての思い出をひとつ。

私は学生時代に御井町郵便局の近くに住んでおり、そのすぐ近所に定食屋さんがありました。おばあちゃんが主に切り盛りをされていて、お昼や夕方は常連のお客様でいっぱいのお店で、「お福」という店名だったと記憶しています。

残念ながら私の在学中におばあちゃんがお亡くなりになり、当然そのお店も今ではありませんが、その時食べた定食のおいしかったことや開店時間前なのにお店をあけていただいたことなど、はっきりと思い出します。あらためて、ありがとうございました。

仕事の空き時間にかきこむように昼食をとっている現在の自分を顧みて、食事はもっと大切にしなければと感じます。

年代や個人によって思い出の味は様々だと思いますが、私たちは一期一会で出会った多くの人のやさしさによって支えられているものですね。学生時代の豊かな思い出は財産だと思います。この会報を読んでいる卒業生の皆様も懐かしい味についての思い出を教えていただければ嬉しい限りです。

平成25年3月31日

小原 哲哉



発行所 久留米大学法学部同窓会
〒839-8502 久留米市御井町 1635
TEL/FAX 0942 (43) 5164
URL : <http://kurume-hougakubu-dousoukai.jp/>
E-mail : krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp

発行人 折戸 謙介
印刷所 株式会社 大里印刷センター